

有明海にのみ分布する  
シチメンソウ



仕事柄いろいろな地方へ植物調査に行く機会が多いのですが、たとえば駅に降り立った時に、その地方の風土を強く感じるといったことはそう多くありません。駅や町並みは、一見、どこでも同じような形をしていますし、周りの人たちはどこでも同じような服装をしています。遠くにみえる山には見慣れたスギの植林が広がり、隣の空き地には、これまた見慣れたセイタカアワダチソウが咲いていたりします。

スギやヒノキの植林は日本国内に広くみられます。私の住む九州地方でも山奥の急斜面にまでみられ、林業家の（または日本人の？）勤勉さに感心してしまいます。しかし、本来、日本は変化に富んだ森がみられる場所であり、植林の拡大は悪くいえば森の均一化といえるでしょう。植林化が進まなければ、その地域を特徴づける森がみられたかと思うと残念に思います。円錐形のスギがきれいに並ぶ京都北山のような見事な景観もありますが、枝をくねらせた広葉樹が生育する身近な森はきっと印象に残る景観を提供してくれたと思います。

どの地方でもみられる生きもの、最近ではその代表的なものに外来生物があげられます。河川敷などに繁茂するセイタカアワダチソウやオオブタクサ、セイバンモロコシなどの外来種は我々のフィールドノートに頻りに登場する常連です。平成17年に外来生物法が施行されたことで、外来生物は生態系に対してだけでなく、農業や健康面など多くの面で弊害をもたらすものと

ある日のフィールドノートから

どこにでもいるもの  
どこにでもいないもの

して注目を集めています。当の生きものたちに責任はありません。人が国外から持ちこんだ農産物や飼料に紛れ込み、本来はいないはずの場所に住み着いてしまったものたちです。輸送や交通網の発達などといった人の営為によって、どちらかといえば無意識のうちにもたらされた現象といえるでしょう。

人為的に持ち込まれ、広められた生きものたちによって、言い換えると我々人間の営為によって、日本の自然環境は均一化が進んでしまったようです。とはいえ、よくよくみるとまだまだ捨てたものではありません。九州では路傍雑草のスズメノカタビラと近縁のツクスズメノカタビラが生育しています。また、農地周辺ではツリガネニンジンによく似たナガサキシヤジンが生育しています。ツクスズメノカタビラやナガサキシヤジンは主に九州や中国地方などに分布する植物で、ひそかに、そしてしっかりと地域の生物相を特徴づけています。

また、レッドデータブックなどでは、特定の地域にしか生育していない、あるいは特定の地域にのみ残された植物（たとえば有明海奥部に分布するシチメンソウ。かつては瀬戸内海

にも分布していた塩生植物です。）が数多く記載されています。これらもまた、地域を特徴づける生きものです。初めて訪れた地方で耳を澄ますと、その地方特有の話しことばが聞こえ

てくるように、じっくりと目を凝らすことによって、その地域特有の自然の姿がみえてきます。また、近年では遺伝子レベルの研究により、同じ種でも、ある場所の集団と近くの別の場所の集団とでは遺伝的組成が異なる場合があることが知られています。

現代はグローバル化やIT化によって、人や物、情報そしてお金などが目まぐるしく動き、あらゆる面で均一化が進む傾向にあります。その波に逆らって、地域の自然特性を保持することは容易なことではないでしょう。もう、保持すべき自然は失われてしまったかもしれません。しかし、我々が抱いた問題に気付いたこれからは、進歩するさまざまな技術や情報をとりいれ、見えにくくなってしまった地域特有の自然の姿（かつての姿かもしれません）を見抜く努力を惜しんではならないでしょう。

（九州支社長 井原寛人）

ご意見 ご質問 お待ちしています

素朴な疑問やご感想など下記のアドレスまでお寄せください。お待ちしております。  
E-mail : nl-info@chiikan.co.jp

梅の開花情報に、「もうすぐ春」を感じるこの頃です。春の訪れ、に魅力を感じなくなって久しい私は、植物屋でありながら花粉症の総合商社「ヒノキ春」に始まり、ススキ（秋）に終わる花粉症との開戦が一刻と近づきつつあるのを、ひしひしと感じてしまいます。毎年右肩上がりの原因植物リスト（イネ科が多数を占める）には、ついに昨年度イネが参入。もう、イネ科のぺろりと下がった薬に愛らしさを感じることはないでしょう・・・多分??  
（九州支社・苗田美香）

News Letter NO.27 2006年2月  
【発行】.....株式会社地域環境計画

発行人.....高塚敏  
編集.....中山香代子・鈴木志保子・釣谷佳子・岡崎康代・小笠原雅子・苗田美香・高岡由紀子  
東京本社 〒154-0015  
東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSビル  
TEL 03-5450-3700 / FAX 03-5450-3701  
営業窓口 : 鈴木志保子・高岡由紀子  
北海道支社 TEL 011-717-8001 / FAX 011-717-8021  
営業窓口 : 中島正雄  
東北支社 TEL 024-515-1105 / FAX 024-515-1106  
営業窓口 : 浅尾勝彦  
大阪支社 TEL 072-684-3182 / FAX 072-684-3184  
営業窓口 : 中山香代子  
九州支社 TEL 092-833-5270 / FAX 092-833-5271  
営業窓口 : 井原寛人